

主重馬一山房夜話第三と云、浅流と云、八雲書
店から送りつてまゐるリ、頂戴、いままゐまにほつ
リ、ほつリ、讀めいごゐるうち、二つとしすつかり
よしごしまゐました。特に、浅流の美人しさ
には敬服しました。自今ごし俳句ご自
今の心境を表現をてみようと試みるこ
ともあります、大兄の心境を打ち出した
歌をよんでみると、恥かしうて御話にかり
ない。目には打込み、み方の五音へかせるも
あるが、それより、心で入る入り方から五音へかせる
である。どうか御自分を変えます、すうい、歌を
この先きにも見せせて下さい。七月二日